

JCI 中性子線を用いたコンクリートの検査・診断に関する FS 委員会 (TC184F)
第 3 回委員会 議事録 (案)

日時：2018 年 11 月 7 日 (金) 10:00～12:30

場所：JCI 第 5 会議室

出席者：小林委員長 (岐阜大)，大竹 (理研)，兼松 (東京理科大)，久保 (金沢大)，瀬古 (愛知工大)，石川 (中研コンサル)，金光 (電力中研)，鈴木 (竹中工務店)，富井 (大林組)，松沢 (建築研)，渡辺 (鉄道総研)

オブザーバー：須長，吉村，水田 (理研)

敬称略

議事：

1. 第 2 回委員会議事録の確認

小林委員長より，第 2 回委員会議事録について説明があり，内容について了承された。

2. 各 WG の活動報告

- ・ 久保主査より，本日のニーズ調査 WG の内容および今後の予定について説明がなされた。
 - 「検査」，「診断」に類する単語の使い方が業界によって異なっているが，本 FS 委員会の報告書では，委員会名の「検査」，「診断」の 2 つの言葉を定義し，使用することにした。
 - 報告書は，「1.背景」，「2.検査・診断への今後の期待」，「3.検査技術のニーズ」，「4.中性子線の将来活用に向けた展望 (理研成果と文献調査 WG の取り纏めを含む)」の内容でまとめ，中性子線がキラーコンテンツとなり得るニーズを示したい。
 - 本 FS 委員会報告書では，委員内のヒアリング結果を取りまとめたものとなる。これ以上に範囲を広げたヒアリングは，本委員会での課題としたい。
- ・ 兼松主査，瀬古主査より，本日の文献調査 WG の内容および今後の予定について説明がなされた。
 - 中性子に関する文献を幅広く調査し，また，現場使用できない大型施設の研究成果も含めて調査している。よって，必ずしもニーズとマッチするとは限らない。
 - 線源の種類 (ラジオアイソトープ，原子炉，加速器中性子源，可搬型加速器中性子源)，測定場所 (実験室，現場)，適用範囲 (単位水量，欠陥検知，セメント化学，土壌の水分，塩分濃度，ASR ゲル，打継目，高温と低温，あと施工アンカーのグラウト充填状況，応力など) に分類して取りまとめる予定である。
 - 上記内容を表にしたものを 10 日程度で作成し，ニーズ調査 WG に提供する。

3. 報告書作成について

- ・ 報告書作成までのスケジュールの確認
 - 来年 1 月 21 日 (月) 事務局必着。
 - 報告書提出と同時に委員会の継続申請を行う。
- ・ 報告書の内容の確認
 - 報告書には，背景，目的，活動報告，成果と結論，研究課題がフィージブルであるか否

か（研究課題となり得るかどうかなど）、委員会延長の可否、活動計画（新規申請と同じフォーマット）を示す。最も重要なのはフィージブルであるかどうかを示すことである。

- FS 委員会には報告書作成の義務はないが、多くの企業の方に委員として参加していただいているため、活動内容、中性子線計測の要点を説明する材料として報告書作成のための経費を計上している。

4. 次回の予定

- ・ 次回委員会は 12 月 17 日（月）15：00～18：00。今回同様、各 WG 実施後、全体委員会。
- ・ 幹事会を 2019 年 1 月 7 日（月）か 8 日（火）15：00～17：00 に実施する。

以上